

# 筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所 利用報告書

平成29年7月10日

貴所を利用して行った実習・セミナーが終了しましたので報告します。

実習名 (セミナー名)	生活環境学演習1					
利用 期間	自 平成29年7月7日 ～ 至 平成29年7月8日					
	区 分	教 員	大学院生	学部学生	その他	備 考
利用者	人 数	3		15		
うち 受講者	人 数					

1. 実習・セミナーの内容について、簡潔にお書きください。

1. 平尾先生に花蜜と酵母との関係をインタバルカメラを使ったフィールド実習/実験を通して、訪花昆虫と花との関係を含む、興味深い生態実習を指導いただいた。

2. 根子岳登山を指導いただいた。送迎は筑波大学のバスにお世話になった。シラカバ林からオオシラビソ林までの植生を指導いただいた。

3. 演習林内の草地実験および演習林の大明神の滝までの植物実習を指導いただいた。

2. 成果をお書きください。（可能であれば写真なども該当シートに添付してください。）

1. 演習林の植物観察および根子岳登山を通して気候条件の違いによる、植生変遷について学生が興味をもって学ぶことができた。

2. インタバルカメラを使った、花の定点24時間撮影から、花蜜と酵母の関係を始めて学び、植物と昆虫の相互作用、多様性などについて、学生が興味をもって学ぶことができた。このようなフィールド実験は学生にとってはじめてであったが、教員にとっても興味深いものであった。あらたな生態系の視点を得た。

3. 当所をご利用いただいた感想、ご要望などご自由にお書きください。

ひじょうに快適に利用させていただいた。食事、施設ともに快適であった。

4. 当所では、「教育共同利用拠点」としての実習等の利用状況・概要をホームページ等で公開しています。上記1、2、3で非公開を希望される内容がありましたらお知らせください。

担当教員	代表教員：前迫ゆり・（佐藤靖明・鶴田哲也）
所 属	デザイン工学部環境理工学科
職 名	教授（准教授・准教授）



菅平高原実験所内での草花の花蜜サンプリング



インターバル撮影による訪花者の記録の例（オオマルハナバチがカラフトイバラに訪花）





森林限界を超えて根子岳の山頂を目指す。



根子岳にて記念撮影。